

「第2回デジタルえほんアワード」開催および募集開始のお知らせ

このたび株式会社デジタルえほん(東京都港区)とNPO法人CANVAS(東京都墨田区)は、「第2回デジタルえほんアワード」を開催いたします。デジタルえほんアワードは、タブレット、電子書籍リーダー、電子黒板・サイネージ、スマートフォン等テレビやパソコン以外の新しい端末を含むこども向けデジタル表現を総称して「デジタルえほん」とし、こどもたちにとって「たのしい!みたことがない!世界が広がる!」デジタルえほんの開拓と発展を目的に昨年度設立しました。第1回では、応募総数約200作品の応募をいただき、企画部門、作品部門ともに数々の新しい可能性を見出してきました。今後も、すべての感覚に訴えるえほんの特徴を活かし、デジタルならではの仕掛けでより豊かな世界をこどもたちに届けると同時に、「デジタルえほん」という新しい表現文化の創造と発展に寄与して参りたいと存じます。第2回デジタルえほんアワードは、新審査員として絵本作家のきむらゆういちさんをお迎えし、8名の豪華審査員により審査を行います。募集部門は昨年度に引き続き<企画部門>、<作品部門>、そして新たに<ブックウォーカー特別部門>の3部門から作品を募ります。募集期間は、2012年10月1日(月)~12月15日(土)で、2012年2月上旬開催の「審査会」を経て、デジタルえほんアワード公式サイトにて受賞ノミネート作品を2月末に発表、2013年3月「ワークショップコレクション」(主催: NPO法人CANVAS/慶應義塾大学メディアデザイン研究科)にて賞の結果発表及び表彰式を行います。

実施概要



- ・名称: 第2回デジタルえほんアワード
- ・募集部門: 企画部門、作品部門、ブックウォーカー特別部門
- ・募集期間: 2012年10月1日(月)~2012年12月15日(土)
- ・賞典: 第2回デジタルえほんアワード大賞(賞金30万円)
企画賞(賞金10万円)
作品賞(賞金10万円)
ブックウォーカー特別賞(商品サポートおよび販売)
各部門審査員特別賞 など

- ・審査員: いしかわ こうじ(絵本作家)、角川 歴彦(株式会社角川グループホールディングス取締役会長)、香山 リカ(精神科医・立教大学教授)、きむら ゆういち(絵本作家)、小林 登(東京大学名誉教授・国立小児病院名誉院長)、杉山 知之(デジタルハリウッド大学学長)、水口 哲也(クリエイター・プロデューサー)、茂木 健一郎(脳科学者、ソニーコンピュータサイエンス研究所シニアリサーチャー、慶應義塾大学特任教授)
/以上8名(五十音順・敬称略)
- ・発表: 2013年2月上旬開催の「審査会」を経て、デジタルえほんアワード公式サイトにて受賞ノミネート作品を2月末に発表。2013年3月「ワークショップコレクション」(主催: 慶應義塾大学メディアデザイン研究科/NPO法人CANVAS)にて賞の結果発表及び表彰式を行う。
- ・主催: 株式会社デジタルえほん、NPO法人CANVAS
- ・協賛: 財団法人角川文化振興財団、大日本印刷株式会社、株式会社ブックウォーカー
- ・協力: 愛知県立大学情報科学共同研究所、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科、京都造形芸術大学こども芸術学科、札幌市立大学メディアアーツラボ、女子美術大学、中京大学、デジタルハリウッド大学、東京コンテンツプロデューサーズラボ、東京大学大学院 情報学環・福武ホール、東北芸術工科大学、株式会社バンタン、武蔵野美術大学、早稲田大学国際情報通信研究センター



・ いしかわ こうじ / 絵本作家

武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科卒業。主な絵本に「つみきくん」「ふねくんのたび」(以上ポプラ社)他、海外でも翻訳版が数多く出版されている。中でも「どうぶついろいろかくれんぼ」かためき絵本シリーズ(ポプラ社)は累計100万部のロングセラーである。1990年代には、デジタルイラストレーションの先駆者として活躍。講談社童画グループで大賞、ポーロニャ国際絵本原画展で入選、「たまごのえほん」(童心社)で造本装幀コンクール日本書籍出版協会理事長賞など数々の賞も受賞している。



・ 角川 歴彦 / 株式会社角川グループホールディングス取締役会長

早稲田大学第一政経学部卒。内閣官房知的財産戦略本部本部員、東京大学大学院情報学環特任教授、早稲田大学客員教授、財団法人角川文化振興財団理事長なども務める。2010年、角川グループとして、スマートフォン・タブレット端末向け電子書籍配信プラットフォーム「BOOK☆WALKER」(ブックウォーカー)を開設。ライトノベルを中心に、あらゆるジャンルの電子書籍を配信している。著書に『クラウド時代とクール革命』(角川oneテーマ21、2010年)がある。



・ 香山 リカ / 精神科医・立教大学教授

北海道生まれ。東京医科大学卒業。豊富な臨床経験を生かして、現代人の心の問題を中心にさまざまなメディアで発言を続けている。専門は精神病理学。「香山リカのココロの美容液」(金曜・夜9:30より)でパーソナリティをつとめる。近著に「職場で他人を傷つける人たち」(ベストセラーズ)、「悲しむのは、悪いことじゃない」(筑摩書房)など多数。



・ きむら ゆういち / 絵本作家

造形教育の指導、テレビ幼児番組のアイデアブレインなどを経て、絵本・童話作家に。『あらしのよるに』(講談社)で講談社出版文化賞絵本賞、産経児童出版文化賞、など数多くの賞を受賞。『オオカミのおうさま』(偕成社、絵・田島征三)で第15回日本絵本賞受賞。絵本・童話創作に加え、戯曲やコミックの原作・小説など広く活躍中。著書は500冊を超え、数々のロングセラーは国内外の子どもたちに読み継がれている。



・ 小林 登 / 東京大学名誉教授・国立小児病院名誉院長

東京大学医学部医学科卒業。医学博士。東京大学医学部小児科教授を経て、1984年国立小児病院小児医療研究センター初代センター長。87-96年国立小児病院院長。その間、臨時教育審議会委員、日本小児科学会理事、国際小児科学会会長など、多くの政府委員、学会役員を歴任。現在、ベネッセ次世代育成研究所およびチャイルド・リサーチ・ネット(CRN <http://www.crn.or.jp/>) 所長を務める。小児科医として長年にわたり、育児・保育・教育などの問題を総合的にとらえた「子ども学」を提唱。主な著書に『こどもは未来である』、『子ども学』、他多数。



・ 杉山 知之 / デジタルハリウッド大学学長

1979年、日本大学大学院理工学研究科修了後、日本大学理工学部助手。87年より、MITメディア・ラボ客員研究員として3年間活動。94年10月、デジタルハリウッド設立。2004年「デジタルハリウッド大学院」を、2005年「デジタルハリウッド大学」を開学。著書「クール・ジャパン世界が買いたがる日本」(祥伝社)など多数。クリエイターの育成、インターネットビジネスの発展に力を注いでいる。



・ 水口 哲也 / クリエイター、プロデューサー

日本大学芸術学部文芸学科卒。卒業後セガ・エンタープライゼスに入社。2003年に独立し、現在、キューエンタテインメント株式会社ファウンダー&取締役CCOを務めている。ゲームの代表作として、『スペースチャンネル5』、『Rez(レス)』、『ルミナス』、『Child of Eden』など。『Rez』は2002年欧州アルスエレクトロニカにおいて、インタラクティブアート部門Honorary Mentionなど数多くの賞を受賞、2006年には全米プロデューサー組合が選ぶ世界で注目すべきデジタル系プロデューサー50人に選出される。また2006年には音楽ユニット「元氣ロケッツ」のプロデュースを開始し、現在も音楽と映像のハイブリッドな表現を世界に向けて発信している。



・ 茂木 健一郎 / 脳科学者、ソニーコンピュータサイエンス研究所シニアリサーチャー、慶應義塾大学特任教授

東京大学理学部、法学部卒業後、東京大学大学院理学系研究科物理学専攻課程修了。理学博士。理化学研究所、ケンブリッジ大学を経て現職。主な著書に『脳とクオリア』(日経サイエンス社)、『生きて死ぬ私』(徳間書店)、他多数。専門は脳科学、認知科学。「クオリア」(感覚の持つ質感)をキーワードとして脳と心の関係を研究するとともに、文芸評論、美術評論にも取り組んでいる。

デジタルえほんになってみたいであります☆



©吉崎観音／角川書店

角川グループのデジタル戦略会社、株式会社ブックウォーカーによる特別部門を設立します。このブックウォーカー特別部門では、2013年生誕15周年を迎える吉崎観音のマンガ『ケロロ軍曹』（角川書店刊）のキャラクター、世界観、物語等を自由に使ったデジタルえほんの企画作品を募集します。受賞作品は株式会社ブックウォーカーによる商品化サポート、および角川グループの直営ストアであるBOOK☆WALKERでの販売を行います。応募要項等の詳細につきましては、後日サイトにて発表いたします。

公式サイト

第2回デジタルえほんアワード

<http://www.digitalehonaward.net>

本件に関する一般及び報道機関からのお問い合わせ先

デジタルえほんアワード事務局（株式会社デジタルえほん内）

TEL : 03-5114-6722 / FAX : 03-5114-6723

E-mail : info@digitalehonaward.net

<http://www.digitalehonaward.net>

担当：高木

株式会社デジタルえほん **デジタルえほん**

株式会社デジタルえほんは、“こども”と“デジタル”を総合プロデュースする会社として、2011年設立。「デジタルえほん」の企画・開発、プロデュース、コンサルティングからキッズ向けWEBサイトプロデュース、アプリケーション開発、参加体験型ワークショップその他教育プログラムの企画・開発まで、活動範囲は多岐にわたっている。

<http://digitalehon.net>

NPO法人CANVAS



NPO法人CANVASは、子どものための創造・表現の場を提供し、豊かな発想を養う土壌を育てることを目標として、2002年11月に設立。様々なアーティストや専門家、企業、行政等とコラボレーションしながら、子ども向けワークショップ・イベントの企画・開発、プロデュースからプログラムの普及啓発活動、調査研究等を行っている。現在まで約13万人の子どもたちに約1600コのワークショップを提供するなど、日本全国の子ども向けクリエイティブ活動の底上げをはかっている。

<http://www.canvas.ws>